

## 小泉訪朝から20年、なぜ拉致問題は動かないのか、 今北朝鮮はどうなっているのか

海外事情研究所 荒木和博

特定失踪者問題調査会代表  
予備役ブルーリボンの会代表

### 拉致問題の流れ（まだ抜けている部分が多々あります。ご了承下さい）

昭和23年（1948）7月 平本和丸さん失踪（調査会リストで最初の失踪者）

8月15日大韓民国政府・9月9日朝鮮民主主義人民共和国政府樹立

昭和25年（1950）6月25日 朝鮮戦争勃発。戦争中に9万6千人余の韓国人北朝鮮に拉致される。

昭和27年（1952）4月28日 日本再独立

昭和28年（1953）7月27日 朝鮮戦争休戦

昭和38年（1963）5月12日 能登で漁に出た寺越昭二さん・外雄さん・武志さんが拉致（寺越事件）

昭和49年（1974）6月 福井県小浜市の海岸から高敬美・剛兄妹が北朝鮮に連れ去られる（警察断定の拉致事件）

昭和52年（1977）9月19日 三鷹市役所のガードマン久米裕さん能登から北朝鮮に拉致

10月20日 鳥取県米子市で松本京子さん拉致

11月15日 新潟市で横田めぐみさん拉致

昭和53年（1978）6月6日 神戸のラーメン店店員田中実さんウィーンに出国し拉致

6月12日 田口八重子さん拉致

7月7日 福井県小浜市で地村保志さん・浜本富貴江さん拉致

7月31日 新潟県柏崎市で蓮池薫さん・奥戸祐木子さん拉致

8月12日 鹿児島県吹上町で市川修一さん・増元るみ子さん拉致

新潟県真野町で曾我ひとみさん・ミヨシさん拉致

8月15日 富山県高岡市でアベック拉致未遂事件

昭和55年（1980）1月7日 産経新聞「アベック拉致」をスクープ

6月 宮崎県青島海岸から原教晃さん拉致

昭和55年～58年（1983） 欧州で松木薫さん・石岡亨さん・有本恵子さん拉致。

昭和62年（1987）11月29日 2名の北朝鮮工作員が中東からソウルに戻る大韓航空機に爆薬を仕掛け乗員乗客115名を殺害。工作員は身柄を確保されて自殺を図り男性の工作員金勝一は死亡、女性工作員金賢姫は自殺に失敗しその後ソウルに移送されて自白、「李恩恵」と呼ばれた日本人女性から日本語や日本の風習を教わったと明らかにする。

昭和63年（1988）3月26日 橋本敦参議院議員（共産党）が予算委員会で拉致について質問。梶山静六国家公安委員長が答弁でアベック拉致事件について「北朝鮮による拉致の疑いが十分濃厚」と、初めて国名をあげて答弁。

平成3年（1991）5月20日 埼玉県警記者会見で「李恩恵」が田口八重子さんであると発表（ただし報道は規制がかかり実名は報じられなかった）

平成6年（1996）10月号月刊「現代コリア」に朝日放送の石高健二氏が寄稿、その中で韓国情報機関筋から「1970年代後半日本海側の海岸で中学校1年生の少女が拉致された」と明らかに

12月14日 現代コリア研究所佐藤勝巳所長（後に救う会全国協議会会長）が拉致された少女が横田めぐみさんであることを突き止める。

平成9年（1997）1月新潟を皮切りに署名活動開始。

2月3日 衆議院予算委員会で西村真悟議員（新進党）が横田めぐみさん拉致について質問、

橋本龍太郎総理「その疑いの持たれております事件に対しましては、捜査当局において所要の捜査が厳重に進められていると思っております」と答弁。同日産経・「AERA」が実名写真入りで報道。

3月25日 家族会（「北朝鮮による拉致」被害者家族連絡会）結成。初代代表に横田滋さん就任（二代目飯塚繁雄さん、現代表横田拓也さん）。その後全国に支援組織（救う会）が結成される。

平成14年（2002）9月17日 小泉純一郎総理訪朝。金正日拉致を認め謝罪。

10月15日 蓮池薫・（奥戸）祐木子夫妻と地村保志・（浜本）富貴江夫妻・曾我ひとみさんの5人が帰国。2年後にはそれぞれの北朝鮮に残っていた家族も帰国。

平成15年（2003）1月10日 特定失踪者問題調査会発足。

平成16年（2004）3月5日 山本美保さんDNAデータ偽装事件

5月22日 第二次小泉訪朝・蓮池さんと地村さんの子供たち帰国

7月18日 曾我さんの家族日本に入国

平成17年（2005）4月27日 田中実さん拉致認定

平成18年（2006）11月20日 松本京子さん拉致認定。（以後新たな認定はされていない）

平成26年（2014）5月28日 日朝ストックホルム合意。北朝鮮は、「拉致問題は解決済み」としてきた立場を改めて、「特別調査委員会」を設置し、拉致被害者を含む日本人行方不明者の全面的な調査を行うと約束。日本政府はその代わりに独自の制裁措置の一部を解除することで合意したが北朝鮮が破棄。

平成29年（2017）5月12日 特定失踪者家族会設立（会長・大澤昭一さん 現任今井英輝さん）

# 拉致解決はチャレンジ

## 未完の最長政権

プレミアム A

第4部 8

ふるや・けいじ 安倍晋太郎外相(当時)の秘書などを経て1990年衆院選(岐阜5区)で初当選。北朝鮮による日本人拉致問題に熱心に取り組み、第2次安倍内閣では拉致問題担当相を務めた。

安倍晋三首相は拉致問題の解決を公約に掲げましたが、解決には至りませんでした。

安倍さんは外相だった父晋太郎氏の秘書官だったころ、拉致被害者の一人、有本恵子さん(拉致当時23)の父・有本明弘さんの話を聞いて「これは誘拐じゃない、テロだ」と考え、その思いが取り組みの原点になっていると思います。

2012年12月に政権に返り咲く3カ月ほど前から、安倍さんは政権構想を

古屋圭司 元拉致問題担当相



考えていました。私にも相談があり、拉致問題担当相をやれということにはわかっ

ていた。私は就任会見で「最後の拉致担当大臣になる」との決意と覚悟を述べ

ました。ただ、政治は結果がすべてです。成果が出なかったことに批判があるのは当然で、いまも申し訳ないという気持ちでいっぱいです。安倍さんも忸怩たる思いでいると思いますよ。

過去の教訓から、報告書を受け取れば北朝鮮のペーソになる懸念がありました。小泉訪朝で(拉致被害者の一部にあたる)5人を帰して(問題の)暮引きを図ろうとしたからです。今回もこの2人で、となれば、同じことになると考えるのは当然です。分析結果をつぶさに話すことはできませんが、当時、拉致対策室であらゆる手段を通じて情報をとり、客観的に分析しましたから。

拉致問題の解決には引き続き米国の連携は不可欠です。ですが、最後は二国間の問題。菅義偉首相も条件をつけずに会う用意があると云っています。安倍戦略と菅戦略はプロセスは違ってもありませんが、究極の目標は一緒です。

「これはチャレンジだ」と。うまくいくかわからないし、リスクもある。だが、チャレンジとしてやるんだという話を聞き、納得しました。北朝鮮との交渉に慎重だった家族会を説得しました。

北朝鮮側は横田めぐみさんについて説明していません。北朝鮮は非公式協議で、行方不明になった神戸

市出身の田中美さんと、知人の金田龍光さんの生存を明かしたとされていますが、日本政府は報告を受け取りませんでした。なぜでしょうか。

延べ100人超の上下両院議員に会いました。当初はどの議員も拉致問題は遠いアジアの話だとの受け止めでした。共和党議員にはテロだと説明し、民主党議員には究極の人権侵害だと訴え、一人ひとりに響く形で説いていきました。バイデン政権も国務省の中堅幹部以下は変わっていない。問題意識は国務省内で引き継がれていると思います。

聞き手・倉重奈苗、佐藤武嗣

添文

平成14年(2002)9月17日日本側に渡された拉致被害者に関する書類。形式は北朝鮮赤十字から日本赤十字への文書になっている。



조선민주주의인민공화국 적십자회  
RED CROSS SOCIETY OF  
THE DEMOCRATIC PEOPLE'S REPUBLIC OF KOREA

Ryonhwa-1 dong, Central District, Pyongyang, DPR of Korea  
Tel: (850-2) 18353 / 18444 ask for 8048 Fax: (850-2) 3814644

일본적십자사 알

조선민주주의인민공화국 적십자회는 조일적십자회담에서 원불응으로  
부적 의뢰받은 총 11 명의 행방불명자들과 2 명의 유령신원자들에 대한  
소식조사를 진행한 결과 진척된 결과를 다음과 같이 통지한다.

확인된 생존자들은 하스이체 가모루, 으루트 유끼꼬, 지무락 야스시,  
하마모토 유끼에 이다.

구체 유착자는 우리 나라에 해당사항이 없으므로 인정되었다.

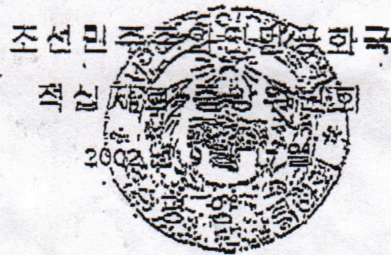
오코다 테루미를 비롯 총 7명의 인원들은 사망한 것으로 확인되었다.

오코다 테루미의 말이 참인 것으로 확인되었다.

그외에 일본측으로부터 제기된 질문에는 많은 1 명의 생존자가 확인되었다.

조선민주주의인민공화국 적십자회는 생존자들의 가족, 친척들이 그들의  
행방을 희망하는 경우 권의를 보장할 의사가 있다.

그리고 본인들이 희망하는 경우에는 일본측과의 귀부 또는 교환방문이  
실현되도록 권의를 보장할 의사가 있다.



추진되자  
주요인물들은  
조사된 사항의  
추진

### 일본적십자사 약

조선적십자회는 조일적십자회편에서 일본측으로부터 의뢰 받은 행방 불명자들에 대한 소식조사를 진행한 결과 집계된 정황을 다음과 같이 통지한다.

조사는 중앙과 지방의 각급 적십자지부들이 인민보안성, 인민위원회, 해방 부서들과 긴밀히 관계하면서 전국적범위에서 실시되었으며 신문, 방송 등을 리용한 측 넓은 조사를 통하여 한층 더 깊이 있게 진행되었다.

조사결과 일본측이 의뢰한 명단에 있는 행방불명자등에서 2002년 8월 19일에 통지한 6명외에 12명의 신원이 확인되었다.

그외에 1명은 우리 경내에 들어 온적이 없는것으로 확인되었으며 명단에 없는 1명의 신원이 더 확인되었다.

#### 새로 확인된 생존자의 신원은 다음과 같다.

1. 하스이께 가오루 (남자)  
    난  날: 1957년 9월 29일
2. 오구도 유끼코 (여자)  
    난  날: 1956년 4월 15일
3. 지무라 야스시 (남자)  
    난  날: 1955년 6월 4일
4. 하마모토 후끼에 (여자)  
    난  날: 1955년 6월 8일

#### 새로 확인된 사망자의 신원은 다음과 같다.

1. 오코다 베구미 (여자)  
    난  날: 1964년 10월 5일  
    사  망: 1993년 3월 13일  
    ※ 그의 딸이 현재 평양에 살고 있는것으로 확인되었다.
2. 아리모토 게이코(여자)  
    난  날: 1960년 1월 12일  
    사  망: 1988년 11월 4일
3. 이시오가 토오루(남자)

난 날: 1957년 6월 29일  
사 망: 1988년 11월 4일

4. 마쯔끼 가오루(남자)

난 날: 1953년 6월 13일  
사 망: 1996년 8월 23일

5. 하라 다다아끼(남자)

난 날: 1936년 8월 2일  
사 망: 1986년 7월 19일

6. 이찌가와 슈이찌(남자)

난 날: 1954년 10월 27일  
사 망: 1979년 9월 4일

7. 마스모토 루미코(여자)

난 날: 1953년 11월 1일  
사 망: 1981년 8월 17일

8. 다쿠찌 야에코(여자)

난 날: 1955년 8월 10일  
사 망: 1986년 7월 30일

우리 정내에 들어 온적이 없는 대상

구메 히로시(남자)

난 날: 1925년 2월 17일

평안에 없는 대상으로서 생존자

소가 히로미(여자)

난 날: 1959년 5월 17일

조선적십자회는 생존자들의 가족, 친척들이 그들과의 편지를 희망하는 경우 편지를 보장할 용의가 있다.

그리고 본인들이 희망하는 경우에는 일본에로의 귀국 또는 교향방문 이 실행되도록 편지를 보장할 용의가 있다.

조선민주주의인민공화국 적십자회 중앙위원회

2002년 9월 17일

평 양

